

回 覧

平成 22 年度高尾台町会

平成 22 年度高尾台町会防災訓練の報告

日 時： 平成 22 年 11 月 7 日(土)13 時－15 時 30 分

場 所： 高尾台町会会館 1 階ホール

参加者： 20 名

指導者： 中央消防署高尾台出張所長ほか 8 名、富樫分団 5 名 杉村 防災士

内 容

平成 21 年度の訓練では、災害時に備えて、まず自分たち周囲の実情を知ろうと、皆で「防災マップ」を作成しました。避難場所として使えそうな田畑が知らぬ間に宅地になっていたりして、改めて、周囲の情報の正確な把握の必要性を痛感しました。今回は、市民目線の民間防災士の方による映像を使ったお話や、消防署の指導による様々な救護訓練など非常時に備えてより具体的な訓練内容としました。

1. 高尾台出張所長による DVD 映像を交えた講話「みんなで守る私たちの町」
2. 実習訓練 応急担架作成、AED および心肺蘇生法講習
 - ・ 応急担架作成：2m 程度の竹の棒 2 本と毛布とちょっとしたコツで簡単に担架が出来ます。
 - ・ AED および心肺蘇生法講習：用意したダミー人形を使って署員の指導のもと、手順に従い参加者が代わる代わる体験してみました。
3. 杉村防災士による DVD 映像を交えた講話
 - ・ 横川 1 丁目の防災士である杉村さんが映像を使いながらクイズ形式で非常時の対応について、分かりやすく解説してくださいました。知っているようでも意外に知らないものです。
 - 家庭で出来る非常時対策
 - ・ 避難場所・道順などの確認
 - ・ 連絡方法の確認（電話よりメールが確実）
 - ・ 家具の固定
 - ・ 枕元にスリッパ準備（ガラス破片対処） 等
4. その他
 - ・ 平成 22 年度は防災備品の充実を図るため、各種備品の追加購入をし、防災倉庫に保管しました。

まとめ（杉村さんのお話より）

- ・ 災害はいつ来るか分からないので、普段からの自主防災対策が必要です。浅野川災害のようなゲリラ豪雨災害は各地で頻発しています。
- ・ 大きな災害になればなるほど、被害状況の情報収集に時間がかかり消防・自衛隊などの救助（公助）はすぐに望めせん。
- ・ 自助（自分・家族）：共助（近所・町会）：公助（行政）＝ 7 : 2 : 1
- ・ このため非常時では「向こう 3 軒両隣」のようなつながりが重要になります

所長の講話



応急担架



A E D



心肺蘇生法



防災士による講話



購入備品

